

奄美新聞社ホームページ



トップ 会社概要 企業理念 販売店 人気記事 イベント 関連企業 奄美の名店 郷友会 今日の記事

2015.05.20

カテゴリ：鹿児島通信

奄美の郷友会2チームが入賞



伝統の大島紬は沿道の人々の注目の的。東京奄美会女性部は、鹿児島市長賞受賞で3年連続入賞の快挙に沸いた



渋谷消防署長（中央）らとともに華やかなオープニングパレードを飾った徳永さん（右から2番目）



踊り連の最後尾には、恒例となった「闘牛」が。本物と同じ大きさの迫力に、観衆も大喜び（関東・ザ・徳之島）（左）、キリリとした衣装と流れるような踊りの美しさが目を引いた関東・ザ・徳之島（右）



「先祖から受け継いだ踊りをつないで」——奄美の島踊りを取り入れて舞い踊った喜界・島踊りの会（左）、おはら祭皆勤賞の常連となり、安定感も抜群（喜界・島踊りの会）（右）



奄美2世、3世も参加して、元気一杯おはら祭を盛り上げた東京配田ヶ丘同窓会（左）、黒地の大島紬の列に並んだ白地のハイビスカス柄の着物姿は、きらめく夏の奄美をイメージ（東京奄美会女性部）（右）



徳永さんのミニステージは新曲「夢さがしに行こう」など5曲を披露。「若い人に演歌に興味を持ってもらえたら」。のびやかな歌声は行き交う人の足をとめ、若い世代の心もつかんだ（左）、審査員を務めた城南海さん（左から2番目）と徳永さん（同3番目）。パレード終了後、かごしま親善大使と記念撮影（右）

大島紬や闘牛で奄美をPR

渋谷・鹿児島おはら祭

【東京】第18回渋谷・鹿児島おはら祭（主催：同実行委員会）が16、17日の2日間、渋谷区の道玄坂、文化村通り周辺で盛大に開かれた。メインの踊りパレードには史上最多の65組がエントリーする中、奄美関係では郷友会など4組が出場し、東京奄美会女性部と喜界・島踊りの会の2組が入賞。渋谷消防署長、かごしま親善大使、東京消防庁音楽隊とともにオープニングパレードを務めた奄美2世の演歌歌手・徳永ゆうきさんも郷友会の踊りに加わるなどし、沿道を埋め尽くす多くの人に奄美群島をアピールした。

同祭は、渋谷一帯を所領していた相模国の豪族渋谷氏が、源平合戦の功により薩摩（現在の薩摩川内市付近）に所領を得て一族で移住したことをはじめ、鹿児島と渋谷には過去から今まで様々な結びつきがあったことからスタート。年々参加チームが増え、今回は約2500人、65組の踊り連が渋谷の中心街で南九州最大の「おはら祭」を再現した。

奄美関係で参加したのは、同祭初回から全出場している東京奄美会女性部（73人）と喜界・島踊りの会（35人）、15回出場の関東・ザ・徳之島（25人）、7回目となる東京配田ヶ丘同窓会（30人）の4組。

東京奄美会女性部は、「今回は、10人ほど若い踊り手が加わった。皆、自前の大島紬。それに奄美をイメージしたハイビスカス柄の着物。世界自然遺産登録を目指す奄美をしっかりPRしたい」（田川ホズエ女性部長）との言葉通り、伝統の大島紬は観客の目を釘付けに。本物と見紛う闘牛を模した被り物がチームの最後尾を練り歩いた関東・ザ・徳之島は、観客席から盛んにカメラのフラッシュと大きな歓声を受けてパレードを盛り上げた。

また、オープニングパレードやミニライブで祭りを一層華やかに飾った徳永さんは「今では一番の応援団になってきている東京奄美会の人たちに声をかけていただいたのは、一昨年この祭り。出会ったきっかけとなった祭りで一緒に踊れることは、本当にうれしい」と笑顔で語り、2度のミニライブの合間には奄美会の踊りの列に加わり、笑顔の輪を広げていた。

この踊りパレードは審査対象となっており、審査員には奄美出身の歌手・城南海さんも審査員として参加。入賞は8組という激戦の中、東京奄美会女性部は「鹿児島市長賞」で3年連続入賞の快挙を果たし、喜界・島踊りの会は「審査委員長特別賞」を受賞。パレードの興奮冷めやらぬ中、それぞれのチームは歓喜に包まれた。

  いいね!  95

[← 前の記事](#)

[次の記事 →](#)

コメント

タイトル:

お名前:

認証コード **6492**

コメント:

コメントは管理者の承認後に表示されます。

[↑ページのトップへ / トップ](#)

Copyright © 2015 奄美新聞社 All Rights Reserved.
鹿児島県奄美市名瀬港町16番11号, 0997-53-6333

powered by **Quick Homepage Maker 4.91**
based on PukiWiki 1.4.7 License is GPL. QHM

